

社協だより



あはら

No.15 平成6年3月25日

各務原市社会福祉協議会

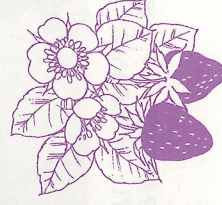
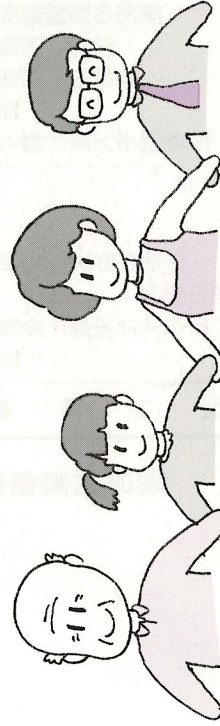
発行

蘇原北部支部

近隣ケアグループ研修会

一月二十二日

現在蘇原北部においては、二十六グループ、百七十六名の方々が、地域福祉のため様々な活動を展開されております。これらの方々に蘇原北福祉センターにお集まりいただき、代表グループによる事例発表を交えて研修会が開催された。なお、当日は百三十名程の出席があり、地域福祉に対する関心の深さが感じられた。



人生八十年代の生きがい

各務原市社会福祉協議会

蘇原北部支部長 河村 一 次

かつての人生五十年代というのは、男性なら定年退職と同時に人生が終わる時代であり、女性であれば大勢の子育てをやっとすませて人生を終わるという時代であった。

ところが人生八十年時代になって、誰もが高齢期に三十年前後のシニアライフを迎えることになった。このシニアライフプランも人によってかなり状況が異なっているので一律に論じることとはできない。そこでこんなに長くなった高齢期を二つに分けて、一つは、六十才代を中心とした高齢者という意識を未だ持たないで元気に活動している時期と、もう一つは、かなり高齢になり体も少し弱って高齢者としての意識を自覚した時期とが考えられる。

前者は壮年時代の延長として考えれば問題はないが、後者はなかなかそう簡単にはいかない。したがって、高齢者の生きがいとかかわって社会参加を考えると、老後において最も重要なことは健康であり、生きがいの大前提も健康である。

一方、生涯学習の視点から高齢期になると社会とのかかわりが少なくなってくるため、自分自身を高めていく努力と学びの姿勢を持ち続けることが、本当の意味で幸せを獲得していく鍵になる。

今までは幸せは他人から何かして貰うことで得られると思われていたが、これからは社会とのかかわりの中で主体的な生き方をしていくという考え方が必要である。

高齢者福祉というのは、一人ひとりが、幸せに一生を送ることを保障していくことだと言ってよいだろう。そのためには、自分の生き方を確立し心身ともに健康を保持しながら、人間関係のネットワークを如何に創っていきけるか、そして周囲との調和の中に自分自身の存在を置くことができるかということにかかっている。

美しく年輪を重ね、人生の最終ステージに立つまで、一人ひとりが社会的サービスをうまく利用しながら、基本的には心身の自立の努力によって充実した時期を送ることが、本当の意味での幸せな人生八十年時代の生きがいと言えよう。

平成5年度
市社会福祉協議会蘇原北部支部事業報告書

月	4	5	6	7	8	9
日	22 10	20 18 7	20 18 10	23 16 15 13	29 22 3	19 12 9 7
事業内容	前年度より事務引継ぎ 役員選任	理事会 総会	理事会 地域リタイガー研修会 交通安全横断旗の補充及び 点検、修理	地域介護講習会 支部だより(第13号)発行 友愛訪問の実施 理事、評議員(自治会長) 市民清掃へ参加 福祉作文の募集(小学生) 合同会議	親子ふれあい映画会 子供フェスティバルに参加 交通安全横断旗の点検	理事会 敬老のつどい 福祉フェスティバルに参加 市民運動会の共催
月	10	11	12	1	2	3
日	15 6 20	4 2 27 15 14 11 4	3 15 15 3	22 13	22	25 22
事業内容	共同募金・歳末たすけあい 運動の推進	理事会 ひとり暮らし老人を囲む会 高齢者祝品の贈呈 市民清掃へ参加 市民意識調査の実施 市社会福祉大会へ参加	理事会 歳末福祉座談会 支部だより(第14号)発行	理事会 地域福祉活動研修会 (近隣ケア・グループ対象)	理事会	総会 支部だより(第15号)発行

平成5年度市社会福祉協議会蘇原北部支部収支決算書

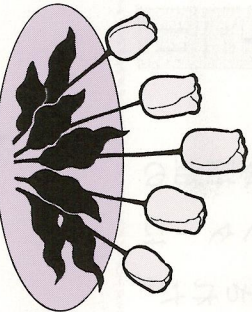
収入の部

区	分	予算額	収入済額	備考
1.	支部交付金	760,000	757,000	
2.	市社協助成金 (メニュー事業助成金)	387,000	469,206	
3.	繰越金	382,000	382,906	
4.	雑収入	10,000	6,866	
	計	1,539,000	1,615,978	

支出の部

区	分	予算額	支出済額	備考
1.	事務費	40,000	27,521	
2.	共通実施事業	195,000	138,631	
1)	福祉教育事業	85,000	71,700	
2)	友愛訪問事業	75,000	43,766	
3)	支部育成事業	35,000	23,165	
3.	メニュー事業	598,000	709,566	
1)	ふれあい事業	98,000	91,527	
2)	啓発事業	500,000	618,039	
4.	その他の事業	430,000	399,022	
1)	生活環境づくり	50,000	15,530	
2)	生きがいづくり	20,000	25,492	
3)	共催事業	320,000	318,000	
4)	総会費用	40,000	40,000	
5.	予備費	276,000	0	
	計	1,539,000	1,274,740	

▲ひとり暮らし老人を囲む会 11月20日
(於 東洋健康ランド・南部支部と共催)



▼介護者福祉座談会 12月15日
(於 蘇原福祉センター南部支部と共催)



収入、支出差引残額(次年度繰越金) 341,238 円